

わが街 Watching



▲贈呈後、生徒たちも手伝って商店街内に飾られる横断幕

地域に感謝の思いを込めて

西田川高校生徒が横断幕などを商店街に寄贈

12月6日、地域に愛される学校づくりと商店街の活性化の一助になればと、西田川高等学校2年生110人が手づくりした横断幕6枚とコルクボード掲示板1枚、のぼり旗2本を、代表生徒12人が後藤寺商店街に寄贈しました。

贈られた横断幕は縦1m横4mの大きさで、それぞれに藤の花や市マスコットキャラクター「たがたん」などが描かれ、「愛情あふれる思いやりの商店街」などの言葉入りのもの。また、のぼり旗には、同校の文化祭で全校生徒の投票で選ばれた「人と人をつなぐ笑顔のロード」と記されています。

生徒代表の山口大さんは「気持ちを込めてつくりました。気に入ってもらえると嬉しい」と顔をほころばせました。

安全で安心して暮らせるまちを目指して

暴力団追放!地域決起会議(筑豊地区)

11月28日、田川文化センターで「暴力団追放!地域決起会議(筑豊地区)・田川地区暴力団等追放総決起大会」が開催され、関係者など約550人が参加しました。

これは、福岡県や市町村、福岡県警察、地域住民などが集結し、暴力団追放の機運を高め、地域防犯活動の一層の強化を図るために催されたもの。この日は、暴力団事務所撤去の事例発表の後、福岡県立大学の学生が「これからも警察、行政、事業者、地域住民が団結して暴力団排除活動に取り組み、安全で安心して暮らせるまちの実現に向けて邁進します」と宣言。その後、全員で「暴力団を利用しない、恐れない、金を出さない、交際しない」とシュプレヒコールを上げました。



▲こぶしを力強く突き上げ、決意を新たにしている参加者

科学技術に基づいたものづくりに向けて

J.I.S.R.I. e-ASIA2016

12月7日、田川市民会館で「J.I.S.R.I. e-ASIA2016」が地域振興学会(星野宗広理事長・マルボシ酢株式会社会長)の主催で開催され、日本や韓国、タイなど9か国の大学や企業研究機関などから約200人の研究者などが参加しました。

昨年に引き続き本市で行われたこの催しは、自然科学と社会科学を融合させて地域活性化を目指そうと開催された国際会議。国内外の研究者たちが、バイオマスの有効利用やビタミン、ミネラルなどの機能性素材を応用した商品開発、安全性や環境に配慮した持続可能エネルギーなどのさまざまな分野から、ものづくりを地域にどう活用していくかをテーマに、さまざまなアイデアを出し合いました。



▲研究の成果を大勢の研究者の前で披露する発表者

田川科学技術高校伝統～8年連続全国へ出品～

家具をテーマに「花を照らす光明」

11月30日、田川科学技術高等学校の大黒まいさん(1年生)が市役所を訪れ、7月31日～8月4日に宮城県で行われる全国高等学校総合文化祭に、木工作品「花を照らす光明」が出品されることを二場公人市長に報告しました。

入学後すぐに作品の構想を開始したという大黒さんは、約6か月かけて高さ約110cmの花をイメージした作品を制作。その一部には、桜とツバキの花を透かし彫りにしてフィルムを貼った引き戸もあり、内部に備え付けた発光ダイオード(LED)の電球で照らし出されるような工夫を凝らしています。

大黒さんは「連続出場というプレッシャーもあり、自分の作品が選ばれてうれしいと同時にほっとした」と話しました。



▲姉のひろ子さん(同校2年)に引き続き、全国への出品を決めた大黒さん

人権の意識を高め、理解を深める

人権週間講演会2016

12月3日、福岡県立大学講堂で「人権週間講演会2016」が行われ、約250人が参加しました。

2部構成で行われたこの講演会。第1部では、福岡県立大学卒業生でシンガーソングライターのfucchiEさんが、手話を行いながら歌う「手話歌」などを披露しました。引き続き行われた第2部では、落語家の露の団六さんが「断家が考える人権～ダウン症のアニキをもって～」と題する講演を行い、実体験を基に、ダウン症の兄を取り巻く家族の思いなどを、真剣な中にも時折笑いを交えながら解説しました。

露のさんは「不幸な子どもなど世の中にはいない。生まれたときは全員が幸せであるべき」と訴えました。



▲軽快なトークで会場を引き込んでいく露のさん

シリーズ 田川市立病院だより

「初診時には紹介状をお持ちください」



国は、質の高い効率的な医療の実現を目的として、一つの医療機関がすべてを担う「病院完結型」から、地域の医療機関が機能に見合った役割を担い連携する「地域完結型」への転換を求めています。

その手段のひとつとして、「初期治療は医院・診療所などで、高度・専門医療は病院(200床以上)で行う」という医療機関の機能分化を推進するため、初診時に紹介状(診療情報提供書)がない患者さんに対して、「初診時にかかる保険外併用療養費」の負担が定められました。

当院においても、初診時に紹介状を持参していない場合には、初診料とは別に初診時にかかる保険外併用療養費として1,180円(税込)を負担いただいています。

なお、救急車で搬送された人や生活保護法による医療扶助の対象となる人、また、特定の障害、疾病などによる各種公費負担制度の受給対象となる人などは、初診時にかかる保険外併用療養費はいただいません。

初期の治療は医院・診療所などを受診し、田川市立病院を受診の際は、紹介状を持参いただくようお願いいたします。

●くわしい情報はHPで検索

田川市立病院

検索

クリック

病院ボランティア募集! ●問い合わせ 田川市立病院 ☎44-2100